

高校生 I C T 2016 Conference

in 帯広

「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】

～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

開催報告書

2016年10月15日(土) 11:00-17:00

【会場】とかちプラザ

主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

十勝毎日新聞社



2016年11月10日

目 次

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2016 in 帯広 開催概要	4
4. 主担当	11
5. 高校生 ICT Conference 2016 サミット	12
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	12
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	12

1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2016</p> <p>テーマ：「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】 ～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁 十勝毎日新聞社</p>
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道私立中学高等学校協会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県高等学校 PTA 連合会、新潟県教育委員会、新潟県高等学校長協会、新潟県高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、北陸携帯電話販売店協会、静岡県、静岡県教育委員会、静岡県公立高等学校 PTA 連合会、東京都教育委員会、東京都高等学校情報教育研究会、神奈川県教育委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム、高知県教育委員会、高知新聞、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会</p>
協賛：	<p>グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE 株式会社、エースチャイルド株式会社、株式会社メディア開発綜研、Twitter Japan 株式会社、一般社団法人情報教育研究所</p>
協力： (順不同)	<p>アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、NPO 法人 e-Lunch、株式会社朝日出版社、ストップイットジャパン株式会社</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。2015 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省で発表を行いました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的</p>

	<p>側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】 ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地	募集参加生徒 30 名
募集人員等：	募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2016 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） ・ 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） ・ 他、関係者団体、事業者等

	<p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道（札幌）	2016年10月16日（日）11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道（帯広）	2016年10月15日（土）11:00-17:00	とかちプラザ
	宮城	2016年8月22日（月）10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2016年9月19日（月）10:00-17:00	石川県女性センター
	長野	2016年10月1日（土）10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2016年8月20日（土）10:00-17:00	ガレソンホール
	東京	2016年9月4日（日）10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2016年9月11日（日）10:00-17:00	岩崎学園
	静岡	2016年9月25日（日）10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	大阪	2016年8月28日（日）10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2016年10月2日（日）10:00-17:00	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	高知	2016年8月23日（火）9:30-16:30	ちより街テラス
	福岡	2016年8月18日（木）12:30-17:00	アクロス福岡
	大分	2016年10月2日（日）10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
東京サミット	2016年11月3日（木）13:00-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS	
最終報告会	2016年12月中旬頃		

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。（サミット熟議のみ参加）※2015年度実績：沖縄、福井

3. 高校生 ICT Conference 2016 in 帯広 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など53名の参加者を得て、「ネットトラブル! どうする?【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>主旨説明 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 吉岡 良平 様</p> <p>高校生 ICT Conference の意義や目的とあわせて、本日の流れを紹介しました。また、11月の東京サミットに送り出す代表校選出の方法についても紹介しました。</p> <p>開会の挨拶</p> <p>北海道総合通信局情報通信部電気通信事業課長 宮腰 宗一 様</p> <p>フィルタリングに関する法律、青少年のスマホ利用と被害の拡大についてお話しいただきました。あわせて、総務省の情報モラル・リテラシー向上の取組を紹介いただきました。</p> <p>第一部 事業者講演</p> <p>「たくさん意見の出る「予防」あまり意見の出ない「対策」」</p> <p>デジタルアーツ株式会社 経営企画部 チーフエバンジェリスト 工藤 陽介 様</p> <p>フィルタリングやネットの危険を学ぶアプリ等の製作とともに、ネットのトラブルから青少年を守る啓発活動等への関わりについてお話しをいただきました。</p> <p>また、今回のテーマについて議論するにあたり、イメージがわくように、動画投稿サイトやワンクリック詐欺の事例の説明をいただき、「予防」を考える時には、自分たちのアイデアを加えて独自性のあるものに、「対策」を考える時は、個々人の経験値は違っていても、自分のトラブル経験を赤裸々に語って欲しいこと、全力で議論に取り組むといいアイデアが出てくることについて助言いただきました。</p> <p>参加校 学校紹介 及び グループ分け</p> <p>参加学校ごとに簡単な自己紹介を行いました。また、ファシリテーターの方々も自己紹介を行いました。自己紹介で少し緊張感も和らぎました。その後、5つにグループ分けしました。</p> <p>第二部：熟議</p> <p>グループに分かれ、十勝毎日新聞社、ワンエックス、全国消費生活相談員協会、帯広コア専門学校の方々もファシリテーターとなり、熟議を開始しました。</p> <p>高校生たちはネットトラブルについて、自分たちが考えていることをそれぞれ発表し、活発に意見を出し合いました。トラブル事例、予防、対策を付箋紙に記載していき、分類分けしながら付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で、さらに意見を出し合いながら各グループでまとめて行きました。</p> <p>また、参加している企業の方々からも的確な助言をいただきました。</p>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第三部：グループ発表（各グループ 3分程度）

各グループでは、スクリーンに映したプレゼンテーション資料と模造紙を活用しながら発表を行いました。

その後、引率の先生と各校の生徒代表が集まり、11月3日の東京サミットに行く代表校を選ぶ投票を行いました。その結果、北海道釧路明輝高等学校が代表校に選ばれました。

（グループ発表概要）

第1班 テーマ 「～相手のことを考えて行動する意識をもとう～俺たちのSNSは腐っちゃいないZE!」

・SNS、LINE、twitterなどのトラブルが最近多くなっている。トラブル内容としては、友達同士の喧嘩や個人情報の流出など。

（LINEトラブル予防編）

- ・送る前に誤解を招くような文じゃないか自分で一回読んで確認しよう！
- ・文字だと伝わらないと思った場合は、通話などの機能を利用して直接話そう！
- ・本人に誤解を招かないように絵文字などをつけたりして文章を柔らかくしよう！
- ・誰もが一度は経験していると思う。誤解を招かないようにするという事は相手を思いやる気持ちと一緒に、結構大事だと思う。

（もしもトラブルになってしまったら・対策編）

- ・会って直接謝ったり、誤解を解きましょう！
- ・何が悪かったのか自分なりに考えて次に生かそう！
- ・大人やSNSトラブルに詳しい人に相談しよう！

（写真・動画編）

- ・自分の顔写真等をネット上にむやみに流出させない。
- ・位置情報をOFFにして使用する。
- ・友達の写真をUPする際には本人に許可を取る。勝手にUPすると不快に思う人もいるので気を付けましょう。

（流出した際のトラブル対策編）

- ・写真をすぐに消してもらおう。
- ・画像を持っている友達に消してもらおうように呼び掛ける。
- ・自分で対処できない場合は運営に削除依頼をしよう！

（まとめ）

- ・できるなら身近なことで皆で話すなど見たり聞いたりする。
- ・全体として一人ひとりが知識を持つ。
- ・自分の発言に責任を持つ。
- ・実際の社会とネットの社会はつながっているという意識を持つ。

（提案）

- ・授業でトラブルの疑似体験を取り入れる。
- ・SNSを始めるときにトラブル対策のチュートリアルを入れる。

・いずれも楽しく学べるような内容にして興味・関心を持ってもらえるような内容にする。

第2班 テーマ 「ネットの危険性」

(身近なネットトラブル)

・ニュアンスが違って受け取り方も違くなる。例えば LINE で「いいよ」と打つとき、「OK」の意味で使う場面や「いない」の意味で使う場面があるため、トラブルが起こる。

・サイト広告をクリックし、不正なサイトに繋がりネットトラブルにつながる。
・LINE などの会話で語句に違和感を感じてトラブルにつながる。「わたしは」「わたしわ」、「まじで」「まちで」。

・アップした動画や写真から場所が特定される。

・そのグループに入っていないだけで話に入れない。

(トラブルを起こさない巻き込まれないための予防法)

・送る文章の内容が相手にとって不快な気持ちにならないか確認する。

・広告を消すアプリで広告を消す。

・場所などが特定されるような動画や写真はアップしない。

(トラブルが発生した際の対策法)

・LINE などのやり取りで相手と自分のとらえ方が違ってトラブルになった場合、しっかりと誤解を解いた上で謝罪する。

・自分ひとりでどうにもできないと思ったら消費生活センター等に問い合わせる。

(まとめ)

・自分の行動を冷静に考え、意識することや危険が潜んでいることをちゃんと理解することができた。専門機関に相談する方法も知ることができたので、良い機会だった。

第3班 テーマ 「ネットトラブルの予防と対策」

(身の回りにあるネットトラブルの予防)

・OS を最新の状態に更新して、不正アクセスを防ぐ。フィルタリング。SNS などをそもそも使用しない。個人情報流出の恐れがある写真は投稿しない。

(トラブルの具体例 自分が起こしてしまう例)

・親が知らない間に子供がクレジットカードでゲーム内課金する。対策としては、クレジットカードを使わないように制限をかけたり、グーグルプレイカード、アイチューンズカードなどのプリペイドカードを使って課金する。

・違法ダウンロードした場合、アプリ、ソフトを削除し、レビューなどに投稿して被害を減らしていく。

・個人情報流出。LINE であれば ID やパスワードをこまめに変更したり、QR コードが流出した場合は、QR コードの更新を行うことで被害を減らすことができる。

・炎上した場合、削除や反抗をせずに反省する。

- ・誹謗中傷については、当人同士での解決は難しいので、第三者や大人に相談する。
(自分が被害にあう例)
- ・コンピュータウイルス。ネット閲覧だけでも感染する。対策としてウイルス駆除ソフトを使用する。
- ・ネットショッピングでお金を支払ったのに商品が届かない。レビューや他の人の意見を聞いて参考にする。
- ・出会い系サイトで会おうという人は無視をする。会う場合は保護者同伴など第三者に見張ってもらう。
- ・アカウント乗っ取りでは、アカウント削除やパスワード変更をする。
- ・ワンクリック詐欺は無視したり、取引内容をスクリーンショットで保存する。
- ・誹謗中傷については、当人同士での解決は難しいので、第三者や大人に相談する。
(まとめ)
- ・ネットに関する知識を深める。具体例や対策法を知っていれば被害を受けた際にも対応できる。
- ・自分が使用している端末について知識を深める。使用する端末の知識が無いと迷惑メールやアプリが消えるなど知らないうちに被害に遭う。
- ・最終的に、メールも大量に来るし個人情報もヤバイとなったら警察、消費生活センターに連絡する。

第4班 テーマ 「SNS から発生するトラブル 被害にあった場合の予防と対策」

- ・自分たちの身の回りにある SNS トラブルの具体例として、詐欺、個人情報の流出、課金、LINE、twitter、出会い系などのトラブルが多い。
- ・個人情報の流出は、住所の特定、画像からの位置情報の特定などの被害が多い。
- ・予防と対策については、電話番号やメールアドレスの変更、むやみに自分の情報を書かない、画像の位置情報を設定しない、などが挙げられる。
- ・詐欺被害については、ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺、通信販売などがある。
- ・ワンクリック詐欺では、アダルトサイトをクリックしただけで入会完了となる、フィッシング詐欺では、金融会社を装って詐欺メールが届く、通信販売では、注文商品が届かない、などの被害がある。
- ・予防と対策については、警察や弁護士など大人に相談することや購入前に公式サイトか確認することが重要。
- ・LINE ではグループ外し、twitter では乗っ取りやなりすまし、誤情報の拡散、ストーカー被害などが挙げられる。
- ・twitter などの乗っ取り対策としては、パスワードを長く複雑にする、適度にログアウトする、鍵をかけるなど。Twitter、フェイスブック、インスタグラムでも同様。アカウント変更や情報の削除、アカウント削除も重要。
- ・ストーカー被害ではブロックをする。
- ・LINE グループのいじめについては、いじめられている人に個別に LINE で励ましたり、自分たちがいじめを受けている人に気づいてあげることが重要。

- ・出会い系被害では、小中高生の売春や援助交際などが挙げられる。何故、出会い系に入るかというと、いじめで自分の居場所がなくなり、出会い系に手を染めてしまうなどの意見があった。
- ・出会い系被害を受けてしまった場合は、自ら被害者として呼びかけをする、もし心身に大きな傷を負ってしまった場合は、カウンセラーに相談するなどの意見があった。
- ・まとめとして、第4班では経験者がいたこともあり SNS 被害についてまとめていきました。個人情報流出や LINE 被害など、思いつく限りしかまとめられませんでした。それでも被害が多いことが分かりました。最終的な対策としては、警察や消費生活センターに相談することが一番多く上がりました。

第5班 テーマ 「ネットトラブルのバイブル」

- ・過誤トラブル。間違った情報が流れてくる。予防としては、自分が正しいと思った情報を読み取り、ネット情報をうのみにしないこと。
- ・炎上トラブル。SNS、LINE、twitter の発言で炎上する。自分が巻き込まれるケースは、知らない人からの友達申請、SNS などでの暴言。予防としては、他人にも自信を持って見せられるものだけを載せる、軽い気持ちで悪口や暴言を言わないこと。対策としては、嘘をつかない、コメントに対して感謝し、削除しないなど。
- ・金銭トラブル。ネット通販で注文しても商品が届かない、自分が適切に包装せずに発送し壊れてしまい苦情が来る。架空請求、ワンクリック詐欺。予防として、売っている人の情報を知るなど信用できるサイトを使う、ネットで売買しない。対策として、消費生活センターや弁護士に相談。最終的には、通報します。
- ・個人情報流出。SNS などでは本人の許可を受けずに写真などを掲載する。予防としては、個人情報を載せない、モザイクをかける、相手の許可を得てから載せる。対策としては、削除してほしいと伝える、アカウントを変える。
- ・SNS で本人ではない人がアカウントを偽り、個人情報を自己紹介に載せる。予防としては、限られた人にしか見られないようにする、自分が後で困る情報は出さない。対策としては、信頼できる人に相談する。最終的には、通報します。
- ・まとめとして、自分が安心して相談できる人を見つけておくこと。

講評：北海道帯広南商業高等学校 校長 我妻 公裕 様

「熟議に参加した高校生とファシリテーターに謝意。意見の中で耳が痛いことが2、3あった。何故皆さんの親世代が機械音痴なのか。インターネットの利用が広がったのは、Windows 95以降。学校で「情報」の科目が新設されてから17年しか経過していない。生まれながらにケータイやネットに接している皆さんと違い、親世代は無かった。今の大人は教えられないが、皆さんの子供は皆さんからスマホ・インターネットの使用を学ぶことになる。今回の成果を学校に持ち帰り、身近な人に伝え広めてほしい。」と話されました。

参加校	北海道帯広南商業高等学校、北海道帯広工業高等学校、北海道帯広農業高等学校、北海道釧路明輝高等学校、北海道帯広緑陽高等学校
-----	--------------------------------------------------------------

日時	2016年10月15日(土) 11:00-17:00
場所	とまちプラザ402 北海道帯広市西4条南13丁目1
参加人数	熟議参加生徒 31名 見学者 22(教員、教育関係者、その他) 合計 53名
熟議グループ	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【第1班】7名 北海道帯広農業高等学校 2年 男子 北海道帯広南商業高等学校 1年 女子 北海道帯広緑陽高等学校 2年 男子 北海道釧路明輝高等学校 1年 女子 北海道帯広工業高等学校 2年 女子 北海道帯広工業高等学校 2年 男子 北海道帯広南商業高等学校 2年 女子 [ファシリテーター] 十勝毎日新聞社 伊藤 肇</p> <p>【第2班】6名 北海道釧路明輝高等学校 1年 男子 北海道帯広南商業高等学校 2年 女子 北海道帯広南商業高等学校 1年 女子 北海道帯広工業高等学校 2年 女子 北海道帯広工業高等学校 2年 男子 北海道釧路明輝高等学校 1年 女子 [ファシリテーター] ワンエックス 山本 国宏</p> <p>【第3班】6名 北海道帯広工業高等学校 2年 男子 北海道帯広工業高等学校 1年 男子 北海道帯広工業高等学校 1年 女子 北海道帯広南商業高等学校 2年 女子 北海道帯広南商業高等学校 1年 女子 北海道帯広農業高等学校 2年 男子 [ファシリテーター] 全国消費生活相談員協会 大淵 泰子</p> <p>【第4班】6名 北海道帯広南商業高等学校 2年 女子 北海道帯広南商業高等学校 1年 女子</p>

北海道帯広工業高等学校 1年 男子
北海道帯広農業高等学校 2年 女子
北海道帯広農業高等学校 2年 男子
北海道帯広工業高等学校 2年 男子
[ファシリテーター]
帯広コア専門学校 小野 眞靖

【第5班】6名

北海道帯広南商業高等学校 2年 女子
北海道帯広農業高等学校 2年 男子
北海道帯広工業高等学校 1年 男子
北海道帯広工業高等学校 1年 男子
北海道釧路明輝高等学校 1年 女子
北海道帯広南商業高等学校 1年 女子
[ファシリテーター]
ワンエックス 辻田 茂生

4. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	白戸	事務局、庶務
草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会	吉岡	司会
十勝毎日新聞社	伊東 他	庶務、ファシリテーター
有限会社ワン・エックス、帯広コア専門学校、 全国消費生活相談員協会北海道支部、 帯広市、十勝総合振興局 等		ファシリテーター、受付、庶務 他
総務省 北海道総合通信局		記録

(敬称略)

5. 高校生 ICT Conference 2016 サミット

高校生 ICT Conference 2016 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

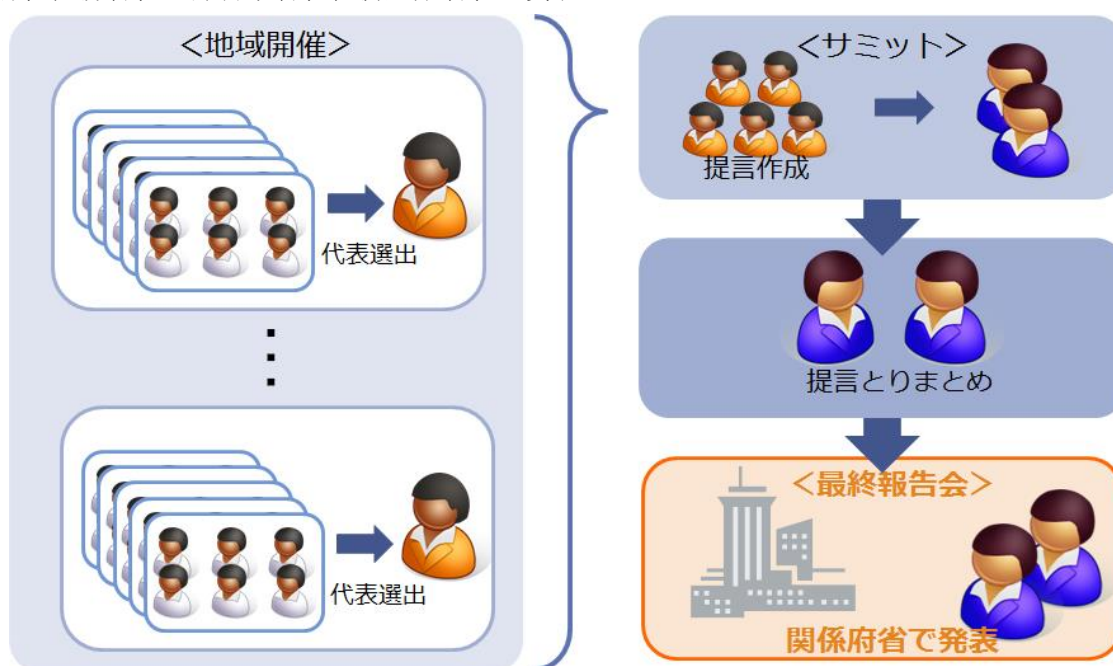
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表（2名）を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2016 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏む。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2016 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2016 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上